



第459号

# スズキ労連

2020年  
新春号

スズキ関連労働組合連合会  
静岡県浜松市南区増楽町20  
電話(053)447-3079 FAX.053-440-2838  
発行人 武藤憲司  
編集人 村松直樹



## 謹賀新年

スズキ労連 会長 武藤 憲司



スズキグループで働く組合員とご家族のみなさん、あけましておめでとうございます。

旧年中は、スズキ労連の諸活動に対して深いご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

昨年は、4月に統一地方選挙、7月に参議院議員選挙が行われた12年に一度の年でした。統一地方選挙では、私たちスズキ労連の代表として、静岡県議会議員に「田口 章」が三期目の当選を果たし、浜松市議会議員に「岩田 くにやす」が初当選を果たすことができました。また、その他の地域でも自動車総連の組織内議員が当選を果たすことが出来ました。加えて、7月の参議院議員選挙では、私たちが加盟する上部団体の自動車総連の代表として、「いそざき 哲史」参議院議員が二期目の当選を果たすことができました。組合員とご家族の皆様のご理解とご協力による結果だと受け止めております。当選した私たちの代表である議員には、引き続き「私たち働く者の立場」、「生活者の立場」、「税金を納める側の立場」に立って、産業課題や暮らしていく上での課題解決に向けて取り組みを進めてもらうよう、様々な機会を通じてスズキ労連より伝えてまいりますので、組合員とご家族の皆様の引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

さて、令和の時代を迎え、令和最初のお正月を迎えました。本年は東京オリンピックの開催年であり、昨年のラグビーに引き続きスポーツが盛り上がる年になるでしょう。日本人選手の活躍が期待されるとともに、様々な経済効果も期待されます。また、自動運転車などの新技術も世界に向けて発信される機会となることが予想されます。一方で、オリンピック終了後の景気の崖という懸念もあります。私たちの働く自動車産業を取り巻く環境は、EVをはじめとする電動化や自動車の保有形態の変化など大きな変革期を迎えていると同時に、働き方についても法改正により様々な環境変化の局面にあります。これらの変化への対応については、私たち自身が環境変化に対応していくことはもちろん、規制や法律などの変更も伴うことから一層政治との関わりが重要になってくると思っています。

本年もスズキ労連の組合員一人ひとりが生き活きと働きながら、これらの変化を前向きに捉え、チャレンジできる社会、より安心して安全に働くことができる職場環境を実現するため、執行部一同、心ひとつに取り組むを進めて参ります。本年もよろしくお願い致します。

## 本年もよろしくお願い致します。

### スズキ関連労働組合連合会 役員一同

- |             |               |
|-------------|---------------|
| スズキ労働組合     | 小楠金属・熱処理労働組合  |
| 平岡ボデー労働組合   | スズキ部品富山労働組合   |
| スズキ部品製造労働組合 | スズキ新潟販売労働組合   |
| スズキ輸送梱包労働組合 | 岐阜スズキ労働組合     |
| ベルソニカ労働組合   | スズキ販売労働組合     |
| スズキ部品秋田労働組合 | スズキ納整労働組合     |
| スニック労働組合    | スズキファイナンス労働組合 |



## 「ビルド&スクラップ」で創る 令和の静岡県

静岡県議会議員 田口 章

スズキ労連の仲間みなさま、心新たに初春をお迎えのことと存じます。本年のご多幸ご健勝をお祈り申し上げますとともに、旧年中のみなさまのご支援に心から感謝申し上げます。

新元号「令和」となると初めての新春です。「1年の計は元旦にあり」。みなさまの今年の目標は何ですか？新たな時代に相応しい幕開けにしていきたいものですね。

私の今年の目標は「ビルド&スクラップ」です。

一般的には「スクラップ&ビルド」と言いますが、私は逆の発想が必要と思っています。私たちは、人口減少、超少子高齢社会、多文化共生という社会構造、温暖化による気候変動による環境への影響、厳しい財政状況など、大きな変化の真ただ中にあります。

こうした中、従来の延長ではなく「バックキャストリング」でこれまでにない新たな施策を進めていかねばなりません。そこで必要になることは、これまでやってきた「古いものを壊す・やめる」ということです。

所属会派「ふじのくに県民クラブ」は、12月に知事に提出した「来年度予算編成に対する政策提言」の中で、初めて「事業の廃止・見直し」を提言しました。「あれをやれ、これを造れ」という「おねだり議会」から、選択と集中による全体最適をめざすべく、この流れをさらに進めていきたいと考えています。

みなさまの変わらぬお支えとご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。



## 子年にあたり

浜松市議会議員 岩田 くにやす

新年明けましておめでとうございます。今年もまたスズキ労連加盟組合員の皆さまが健勝なる一年を過ごされることをご祈念申し上げます。

さて今年は子年です。皆さまのお宅にも可愛らしいネズミの縁起物が玄関先などに置かれていると思いますが、そのネズミがなぜ十二支の一番初めにいるのか、ご存知でしょうか？いわゆる「諸説あります」なのですが、昔子供に読み聞かせした中国の故事にちなんだ絵本「十二支のはじまり」（いもとようこ著 金の星社刊）によると…

- ・神様が13匹の動物に、元旦に初めに到着した者をその年の大将にすると告げる。
- ・猫がその日付を忘れ、ネズミに聞くと1月2日とウソを教えらるる。
- ・足が遅いまじめな牛は元旦に到着するよう、年末早いうちから歩き始める。
- ・ネズミはその牛を利用し、頭の上に乗って楽をしながら移動。そして神様の目の前で飛び降りて一着でゴール。ネズミがその年の大将となりました。めでたしめでたし…

ということで到着した順番に、ネズミを筆頭に牛・虎・卯…と十二支の順番が決まるとされています。ほかの動物にも様々なドラマがあってそれぞれの順番になるのですが、それは読んでのお楽しみ。

絵本のネズミはかなり「ずる賢い」イメージで書かれていますので、私はこれを反面教師とし、子年にあたって如何なるときにもこのネズミのような「ずるい心」が出てくることが無いよう、自分を律して臨んでいく事を誓いとして立てさせて頂きました。皆さまには今年一年、ご指導いただければ幸いです。

さて先ほどのお話の続き。この後猫は1月2日に神様を訪ねたものの十二支には入れず、騙されたことに気づき、怒りに燃えてネズミを懲らしめようと追い回したそうです。そして今でも猫の怒りは解けず、毎日ネズミを追いかけるのだそうです…

今年もよろしくお願いいたします。



## 参議院議員 いそざき 哲史

2期目に入り最初の新年を迎え、改めまして、昨年中の皆様のご支援に感謝申し上げます。

昨年10月に参議院の経済産業委員長に就任したことで、議論において公平性・中立性が求められ、国会で質問することが原則的に出来なくなっています。他にできることを考えながら、「職場原点」で政策実現活動を続けていく決意です。

その上で、まず力を入れていきたいのはモビリティ社会への環境整備と景気対策（生活支援）です。

「MaaS」や「CASE」で表現される自動化や電動化の急速な進展の中で、政治としてはその環境整備のための規制緩和や規制強化、税制、人材育成支援、国際標準化への対応等に臨まなければいけません。

もう1つが景気対策。中でも、GDPの6割を占める個人消費を活性化することが重要です。国民民主党としては、児童手当や年金の増額、家賃補助などの「家計第一」の具体的な経済政策を掲げました。我々が主導した高速道路料金の引下げ案も一助となるはずですが。

皆様と共に活動を前進させ、充実した一年にしていきたいと思っております。



## 参議院議員 はまぐち 誠

明けましておめでとうございます。スズキ労連の皆さんには昨年も全国各地でご支援をいただき、誠にありがとうございますございました。

昨年は元号が「令和」に変わる歴史的な年でした。4月の統一地方選、7月の参院選など多くの選挙が行われ、多くの仲間の議員が立派な成果を上げることができました。自動車産業に集う労組の皆さんの絆、連帯の強さを改めて実感しました。

今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツ界にとっては新たな歴史を刻む年になります。政治面では、今年の10月で衆議院議員の任期が残り1年を切るタイミングを迎えます。次の国政選挙は衆院総選挙です。政治の役割は、まじめに働き、きちんと税金を納めていくごく普通に生活する国民の皆さんが報われる社会、安心して暮らせる社会にすることです。そのためにも「正直な政治」「偏らない政治」「現実的な政治」を実践し、今年を国民ファーストの政治に変える節目の年にしていかなければなりません。

今年もスズキ労連の皆さんにとって素晴らしい年となることを心から祈念致します。



## 【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。皆様新年の抱負などは決めましたでしょうか？抱負を決める時は、数値・映像化できている明確なゴールがある物が良いですよ。私の今年の目標……と言えるか分かりませんが、『有給休暇を月1回以上取る』にしようと思います。休暇を取って温泉で「のほほん」とする、最高の贅沢だと思います。 むーらー